



ひと うえ まえば した は おお
人の上の前歯は、下の歯よりもどうして大きいのか

うえ まえば おお
上の前歯が大きいのは

は 歯は、みんなおなじようにみえますが、よく
 み 見ると形や大きさがちがっており、それぞれ、
 やくめ 役目もちがっています。

まえば 前歯といっているほんの4本の歯は、せっし
 たもの き やくめ 食べ物をかみ切る役目をしています。そのと
 けんし たもの き なりは犬歯で、食べ物を切りさくはたらきを
 しやうきゆうし た します。そのおくにあるのが小臼歯で、食べ
 物の かみくだきます。そして、大人の歯に生
 えかわると、大臼歯という、食べ物をすりつ
 ぶす歯がでてきます。

うえ まえば した は おお
 上の前歯が下の歯よりも大きいわけは、わ
 かりませんが、いろいろな歯が、このよう
 になっているので、わたしたちが食べ物を食べ
 るのに、役立つことは確かです。

どうぶつ は
動物の歯はどうなっている

どうぶつ 動物は、その食べ物に合った歯をもっているようです。トラやライオンのように、肉を食
 べる動物は、獲物をとらえるのに便利な、するどい歯をもっていますし、ウシやウマのよ
 うに、草だけを食べる動物は、じょうぶな草の繊維を、すりつぶすのに便利な歯をもっ
 ています。（監修・保志 宏）

